

正賞に「矢吹中」

受賞作品

※順不同

- ◆正賞=矢吹中 (矢吹町)
- ◆準賞=菊池眼科 (郡山市)
- ◆優秀賞=とうわこども園 (二本松市)
アルテマイスター保志
(会津若松市)
- かなや幼稚園 (いわき市)
- ◆特別部門賞=IDCフロンティア福島白河データセンター (白河市)
- 気多宮街なみ交流センター
(会津坂下町)
- 地域・家庭医療センター「ほつと☆きらり」 (喜多方市)
- ◆復興賞=桜の聖母学院幼稚園園舎
(福島市)
- 飯坂温泉「なかむらや旅館」
(福島市)
- 日本全薬工業研修管理棟
(郡山市)

来月15日に表彰式 福島

周辺環境に調和し、景観上優れた建築物をたえた第三十二回県建築文化賞の正賞に矢吹町の矢吹中が選ばれた。敷地の高低差を生かした配置設計や中庭を中心とした教室などを有機的につなげた点などが高く評価された。準賞一点 優秀賞三点、特別部門賞三点、復興賞三点も決まりた。福島民報社、県建設業協会、県建築士会、県の主催。表彰式は来年一月十五日に福島市の杉妻会館で行う。

(5面に関連記事)

県建築文化賞

11点入賞

正賞の矢吹中は、町民や教職員が計画策定に参加した。完成直前に旧校舎が震災による被害を受けるなどさまざまな困難を乗り越えて完成した。

敷地の高低差を生かした配置に加え、図書館と中庭を核に普通教室や特別教室などを有機的につなげている。内外部空間とも豊かな環境をつくっている。町に唯一の中学校として也或こ割いて、多く

多くの寄せられた。審査委員長の長沢悟東洋大名誉教授は受賞作品の高さをたたえた。

県建築文化賞 受賞作紹介

長沢審査委員長 総評

第三十二回県建築文化賞では周辺環境に調和したデザインや、東日本大震災と東京電力福島第一原発事故で被災した人々の生活を支え心に潤いを与える建築物などが

可能性をあらためて感じた。今後は、震災以後の本格的な建設事例が増えてくるだろう。その実現を通じて福島には、住宅だけなく心の渴きを癒やす文

化に接し、地域のさまざまな活動を支える施設も求められることに設も求められるに与える力をもって、新しい福島の建築文化が発展することを願つ

ていている。

被災者の心に潤い

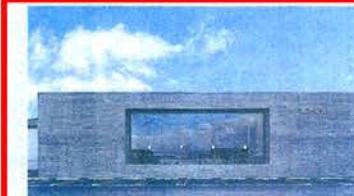
辺境に調和したデザインや、東日本大震災と東京電力福島第一原発事故で被災した人々の生活を支え心に潤いを与える建築物などが

矢吹中の町民や教職員が参加

力的な学校建築となっ

ている。

現地審査を通じて実感したのは、震災がさまざまな形で作品に影響を及ぼしていることだ。一つ目は震災による計画の中止や変更、再開、二つ目は震災で被災した建築の復興とその経過に表された失意から立ち直る熱意と努力、三つ目は震災以後に新たな使命を担った計画の始まりであ



地域医療を通じて復興

◆準賞

菊池眼科

日本大震災からの復興に貢献したいという願

いが建築によって実現されている。大きな開口を持つ直方体の外観はシンプルで力強く、存在感を示している。

地域医療を通じて東日本大震災からの復興に貢献したいという願

いが建築によって実現されたいという思いを評価されてうれしい。患者が安心して医療を受けられる環境を整えることを第一に設計を依頼した。

▼菊池通晴・菊池眼科院長 福島に良い医療機関を建てる

てたい」という想いを評価され、菊池通晴・菊池眼科院長福島に良い医療機関を建てる

地域材活用した曲線

◆優秀賞

とうわこども園

地域材を活用し、柔らかな曲線からなる木

て巧みに構成されている。温かみにあふれた世界が生み出されている。

木幡の幡祭りの色彩を取り入れるなど郷土愛を育もうとする気

▼新野洋・二本松市長 「まつまつ」をキヤッチフレーズに子育て支援をする市の励みになる。木のぬくもりある園舎で子どもが健やかに育つ

よう頼う。

正賞の矢吹中は、町民や教職員が計画策定に参加した。完成直前に旧校舎が震災による被害を受けるなどさまざま

て完成した。

敷地の高低差を生かした配置に加え、図書館と中庭を核に普通教室や特別教室などを有機的につなげている。内外部空間とも豊かな環境をつくっている。町に唯一の中学校として

也或こ割いて、多く

の寄せられた。審査委員長の長沢悟東洋大名誉教授は受賞作品の高さをたたえた。

第三十二回県建築文化賞では周辺環境に調和したデザインや、東日本大震災と東京電力福島第一原発事故で被災した人々の生活を支え心に潤いを与える建築物などが

多くの寄せられた。審査委員長の長沢悟東洋大名誉教授は受賞作品の高さをたたえた。



敷地の高低差を生かして中庭を中心に校舎や屋内運動場を機能的に配置した点が評価された矢吹中

矢吹中は町唯一の中学校として高台に立地、シンボル的な存在となっている。敷地の高低差を生かして中庭を中心とした教室などを有機的につなげ、周辺環境と調和している。鉄筋コンクリート造り（一部鉄骨造

り）の地上三階建て。延べ床面積は一万三十三・〇七平方㍍。

外壁に町内の蔵をモチーフとした「なまこ壁」を用いた。教室内にベンチなどを設置し、自然に人が集まる工夫を施した。町の防

災拠点としての機能も持ち、東日本大震災時に避難所となった。仮校舎を用いたままのぬくもりある園舎で子どもが健やかに育つ

り）の地上三階建て。延べ床面積は一万三十三・〇七平方㍍。

外壁に町内の蔵をモチーフとした「なまこ壁」を用いた。教室内にベンチなどを設置し、自然に人が集まる工夫を施した。町の防

災拠点としての機能も持ち、東日本大震災時に避難所となった。仮校舎を用いたままのぬくもりある園舎で子どもが健やかに育つ